

「読み聞かせボランティア養成講座」

日程	時間	内容
5/23 (木)	9:30~11:00	基本の読み方
6/27 (木)		読み聞かせをする本の選書
9/26 (木)		読み聞かせ・科学の本（低学年向け）
10/31 (木)		読み聞かせ・科学の本（中学年向け）
11/28 (木)		読み聞かせ・科学の本（高学年向け）

＜会場＞ 男女共同参画活動室 （スイトピアセンター 学習館4階）

＜定員＞ 40名（先着順）

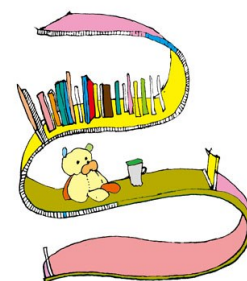
＜講師＞ 古川よし子氏（犬山どんぐり文庫主宰）

＜申し込み＞ 図書館へ来館、または電話（78-2622）で受付しております



読み聞かせをして見える方に、お話を聞きました。

私は我が子と毎日絵本を読んで過ごしていました。たくさんの本に出会える図書館に足を運ぶようになって、おはなしコーナーで読み聞かせをされているのも知って、通っていたある日、「あなたも読み聞かせをしてみませんか」の掲示があったので「私でもできるのでしょうか？」と尋ねた日から19年、ひとりでは出会えない本にたくさん出会い、子どもたちの笑顔がみられる時間は最高です。



自分自身本が好きでした。自分が悩んだり、辛いとき本に助けられました。また、自分の考えをまとめたり、人に伝えるとき、言葉が大切だと実感したことから、子どもにも本好きになってもらいたいと思いました。良い本との出会いや、人に読んでもらう心地よさに気づけば必ず本好きになると信じています。小さい頃の読書体験はとても大切です。それは、一生の宝物になると信じています。

本を読むことは人生を豊かにすると考えています。自分の子どもにも、本が好きになってほしいと、一緒に絵本を楽しみました。お陰様で今でも仲良い母娘です。

絵本や童話は小さいときから大好きで、本はたくさん家にありました。母も本好きです。

幼稚園教諭の時、毎日読み聞かせをしていました。本が好きでない子も毎日読み聞かせを継続していったら、長い続き話でも聞けるようになり、とてもうれしく思いました。読み聞かせをしていると、子どもたちの表情が素晴らしくて、とてもうれしいです。ずっと続けていけたらと思っています。